

本県学校教育が目指すもの

※「学校教育の指針」p1～p3参照

I 思いやりの心を育てる

人間愛の大切さの体得
開かれた心の育成

II 心と体を鍛える

生き抜くたくましさの育成
働くことの喜びの体得と意義の理解

III 基礎学力の向上を図る

自ら学ぶ意欲と態度の育成
幼児児童生徒の個性と能力の伸長

IV 教師の力量を高める

幅広い識見と教育愛の涵養
社会の変化に即応した研修の充実

ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり

生きる力の育成

学校教育共通実践課題

※「学校教育の指針」p6、7参照

ふるさと教育の推進 ～心の教育の充実・発展を目指して～

本県では、「豊かな人間性を育む学校教育」を目標に掲げ、目指す教育の姿を「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」とし、ふるさと教育の推進を通して、その実現を図っているところです。
「全教育活動を通して取り組む最重点の教育課題」として位置付けている「地域に根ざしたキャリア教育の充実」と「『問い』を発する子ども」の育成への取組を充実させることにより、ふるさと教育の一層の推進を図ります。

【ふるさと教育のねらい】

- 1 ふるさとでのよさの発見
- 2 ふるさとへの愛着心の醸成
- 3 ふるさとに生きる意欲の喚起

【ふるさと教育の目指す人間像】

- 1 郷土の自然や風土を愛する人間
- 2 郷土の歴史や伝統、文化を正しく受け継ぐ人間
- 3 うるおいと活力に満ちた郷土を築く創造性あふれる人間
- 4 郷土の発展に尽くそうとする実践的な人間
- 5 国際社会をたくましく生き抜く人間

ふるさと教育の重点事項

心豊かで、郷土愛に満ちた人間の育成

自ら学び自ら考え、課題を追究する力などの学ぶ力の育成

高い志と公共の精神をもち、秋田の将来を支えていく人材の育成

全教育活動を通して取り組む教育課題

※「学校教育の指針」p12～p26参照

全教育活動を通して取り組む最重点の教育課題

教育課程の編成 学習指導・各教科等の指導

※「学校教育の指針」p27～p59参照

地域に根ざしたキャリア教育の充実

※「学校教育の指針」p8、9参照

二つの教育課題に対する取組を充実させることにより、ふるさと教育を推進する

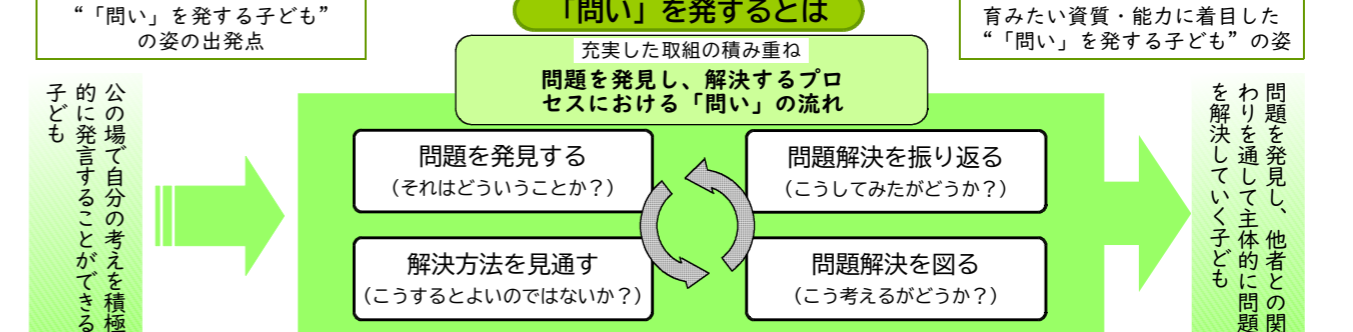
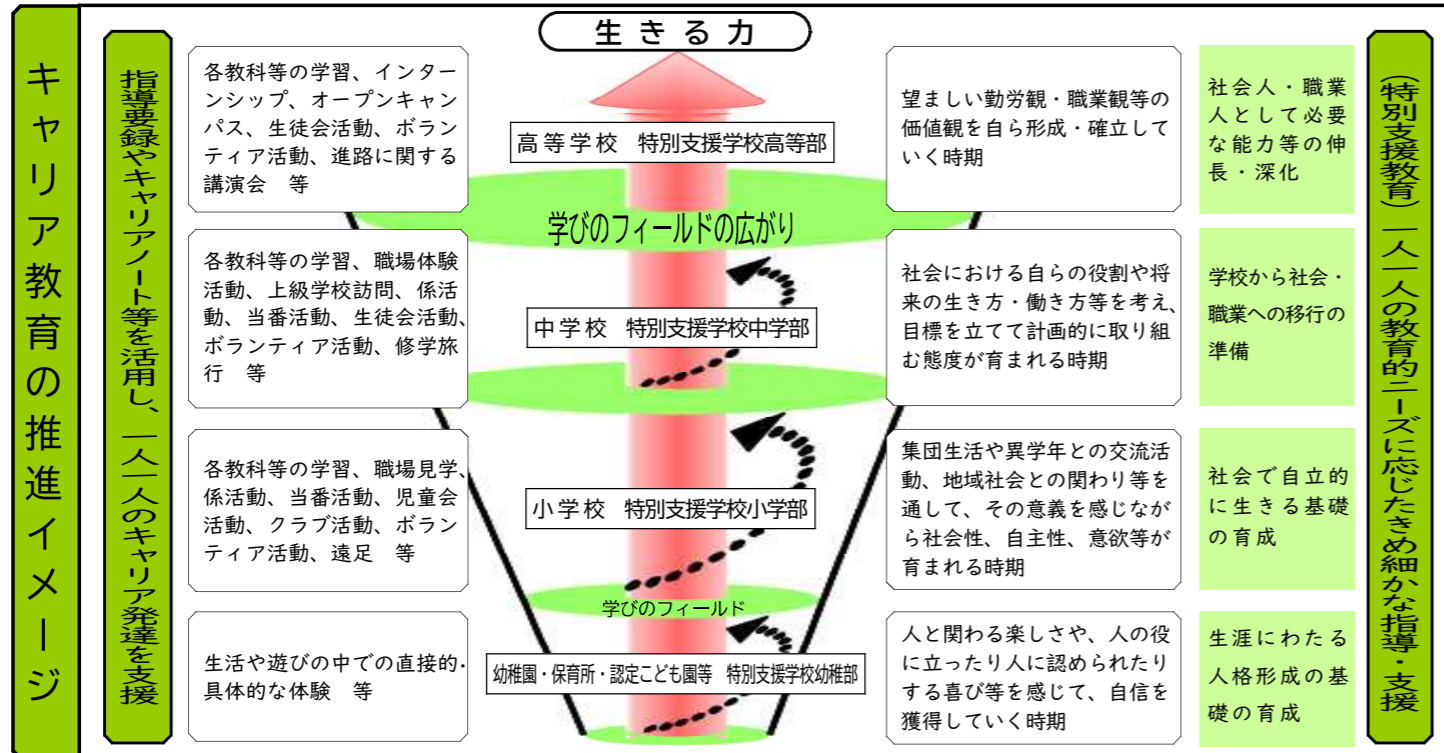
“「問い」を発する子ども”の育成

※「学校教育の指針」p10、11参照

1 キャリア教育のねらいや成果の発信及び家庭や地域、企業等との共有

2 資質・能力の育成につながる体験活動及び事前・事後指導の充実

3 キャリア発達を一層促すための学校間・校種間連携の推進



“「問い」を発する子ども”の育成に向けて

- 1 様々な教育活動における意図的な手立ての工夫
各教科等において育む資質・能力を明確にした上で、各学校における教育課程を教科等横断的な視点で組み立てるなど、カリキュラム・マネジメントの充実を図り、意図的な手立てを講じて教育活動の質の向上に努める。
 - 2 「秋田の探究型授業」の基本プロセスを機能させた授業づくりの充実
単元や題材など内容や時間のまとまりを見通し、学習過程におけるそれぞれの段階を効果的に機能させた上で一連のプロセスとして関連付けて捉え、児童生徒一人一人に応じた質の高い学びを保障する。
-
- 「秋田の探究型授業」の基本プロセス
- 学習の見通しをもつ
- 自分の考えをもつ
- 集団(ペアやグループ、学級)で話し合う
- 学習の内容や方法を振り返る
- 3 「問い」を発するための基盤となる言語活動の充実
言語活動を取り入れるねらいを明確にし、各教科等の特質に応じてどのような場面で、どのような工夫を行い取り入れるかを考え、その質を高めるとともに、全教職員の共通理解の下、言語環境の一層の整備・充実を図る。

※本重点において、「小・中学校」には義務教育学校、「小学校」には義務教育学校の前期課程、「中学校」には義務教育学校の後期課程をそれぞれ含みます。

※『「秋田県総合計画 ～秋田再興への第一歩～」』及び『「第4期あきたの教育振興に関する基本計画」』の施策体系については、「学校教育の指針」p4、5に掲載しています。